



全国の学生から集まった夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.3

学生の皆さんへの夢募集企画

「CampusLife+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢をもっているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

東京農業大学 3年

神子元貴くん

(20歳)

実家はトマトの栽培をしている農家。アルバイトも野菜の収穫や選別をするなど、根っからの農業好き。



農業大国アメリカの知見を持ち帰り 日本の農業の未来を明るく照らしたい

私は大学で、主に食料の流通や日本の食文化について学んでいます。そんな私の夢は、「日本の農業の可能性を広げ、直面している課題を解決すること」です。農業が抱える問題として、高齢化や後継者不足が挙げられます。アルバイト先の農家でも、後継ぎがいなく自分たちの代で終わってしまう、という話をよく聞きます。その問題を解決するためには、もっと多くの人に農業の魅力を伝えていかなければなりません。農産物ほど人々の生活に欠かせないものはありません、農業に携わることで必然的に規則正しい生活を送れるようになるはず。今の「健康ブーム」という時代性にもあっていると思います。また、仕事内容の側面から見ても、農業はやりがいのある仕事です。一般的に農業＝畑仕事と認識される人は多いと思いますが、

農業への関わり方は多種多様にあります。例えば、マーケティングを利用した効果的な農作物の流通販路の拡大や今までの仕事で培った知識を活かして農家をバックアップするなど、携わる方法はたくさんあり、魅力はあると思います。私は、今回のCampus Life+1を通じて農業大国であるアメリカへ留学をして、アメリカの農業システムや農家の人たちの生活を学び、それを日本の農業に取り込みたいと考えています。多くの人が農業に携わる世の中になれば、こんなにうれしいことはありません。



アメリカ留学では野菜農園で働きたいと話す

夢への足跡

2005年 12歳

小学校の卒業文集に書いた夢は「将来の夢は農家になること」

2011年 18歳

大学入試の際、農業を真摯に学びたいと千葉から北海道の大学に

2012年 19歳

長芋の収穫や大根の選別など農家の仕事をアルバイトで体験

2013年 20歳

日本の農業を変えたいと CampusLife+1 に応募



他にもこんな夢が集まっています!

Pick UP! Dream

1

あらゆる世帯にエンターテインメントを提供できるようなセミナー講師になる!

北海道 R.Tくん

Pick UP! Dream

2

2014年入社の子学生の業界横断型ネットワークをつくること

滋賀県 R.Aくん

Pick UP! Dream

3

動画配信サイトで100万再生される音楽を作りたい!

宮城県 S.Oくん

Campus Life+1 実行委員会にインタビュー! 夢を持つとは?

北海道エリア



北海道大学3年生 宇佐美洋夢くん、北海学園大学2年生 和泉竣也くん、札幌大学4年生 鈴木重信くん、北海道大学 大学院2年生 上山琢矢くん

同世代の夢を知ることが刺激になる 自分たちのやりたいことを再認識

同世代の人たちがどんな夢を持っているのかが興味があり、学生実行委員に参加しました。実際にエントリーされた夢を見て、私たちも大変勉強になりました。私たちの年代では、頭では思い描いていもなかなか行動に移せない人も多くいると思います。そんなとき、今回のように頑張っている人たちを見ると、どう動いてい

のか大変参考になると感じました。私たちもみなさんの夢に触れて、自分のやりたいことを再認識することができたとみんなで話しています。夢を持つことで、日常の些細なことも見方が変わってくるはずですし、毎日が楽しくなると思うので、1人でも多くの人が夢を持って欲しいと思います。



「Campus Life+1通信」の最新情報はこちらからCHECK!

<http://entac.jp/>

インタク

検索